

令和6年第4回西之表市議会定例会

所信表明並びに提案理由説明



おはようございます。

本日、ここに令和6年第4回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には御出席くださいます、誠にありがとうございます。

馬毛島の自衛隊施設につきましては、工事工期の延長に伴う課題や懸念等を市内各種団体等から意見聴取しました。結果を受け、11月13日、防衛省に対し要望活動を行ったところです。引き続き、市民生活への影響を最小限にとどめるよう対策を求めてまいります。

新型コロナウイルス感染症及びインフルエンザについては、例年、年末年始に向け、帰省や旅行など、人の動きが活発化する時期を迎えますので、本市としては、市民の皆さまに必要な情報提供を行うとともに、感染対策の呼びかけを進めていきたいと考えております。

新型コロナワクチンの定期接種については、65歳以上の方や、60歳から64歳までの一定の基礎疾患をお持ちの方を対象に、また、インフルエンザは生後6か月以上の全市民を対象に、10月1日より市内医療機関において接種を開始しております。詳細については、9月10日発行の「すこやかだより」をご覧ください。重症化予防の観点からも接種をご検討ください。

それでは、第3回定例会以降に開催された市の行事や取組みについて報告したいと思います。

10月27日には、日泊みなど公園で市商工フェスタが開催され、あいにくの雨模様となりましたが、午後からは天気も回復し、多くの市民で賑わったところです。

また、10月29日から11月9日にかけて、市街地において、くろしおアートが開催されました。今回は、韓国から7名のアーティスト、種子島在住の3名のアーティストが参加し、市民とともに、ベンチや看板、壁画の制作等、街中の魅力創出を図っていただきました。

11月23日には、本市出身の漢学者、ジャーナリストである西村天囚の没後100年を記念し、シンポジウムを開催しました。偉大な先人の存在は、郷土への誇りと愛着を養います。郷土という心の拠りどころを創出する取組を今後も行ってまいります。

11月26日には、本市で初となる外国船籍であるバイキング・エデン号が寄

港しました。乗船客は600名で国内の方が大部分でしたが、多くの方が観光バスで種子島の観光地を巡りました。

文化事業では、節目となる第50回市民文化祭が11月2日と3日に開催され、多くの皆さんにご参加・ご鑑賞いただきました。

スポーツ事業では、11月17日に第53回西之表市駅伝競走大会が開催されました。伊関小学校をスタートし、現和校区グラウンド入口ゴールとする10区間14.4kmに14チームがエントリーし、健脚を競いました。榕城下方が優勝、2位下西A、3位榕城上方、伊関が躍進賞という結果でありました。

次に福祉関連事業についてです。

令和6年度西之表市戦没者追悼式は、台風の影響もあり天候が心配されましたが、11月2日の当日は雨もなく、各校区・団体並びに議員各位等、多くの皆様のご参列をいただき、無事実施することができました。

また、引き続き行われた奉納相撲大会では、小学生から一般まで校區対抗の熱戦で、大いに会場を沸かせてくれました。

来年は戦後80年の節目の年となります。世界各地ではいまだに紛争が絶えません、市民の皆様とともにこうした追悼行事を通して、戦争の悲惨さを風化させることなく語り継ぐことで、改めて、世界の恒久平和を祈りたいと思います。

次に、農林水産・畜産業の状況についてであります。

本市の基幹作物であるサトウキビにつきましては、7月から8月の干ばつ及び台風10号の影響が若干あったものの、9月以降の高温・多照による回復もあり、概ね平年並みの生育状況で推移しております。生産見込みにつきましては、収穫予定面積703.71ヘクタール、生産見込み数量4万5千178トン、平均反収6千420キログラムを見込んでおります。

なお、製糖工場の原料受入を12月3日から開始し、年末年始休暇や増産推進日等を挟んで、来年の4月21日に受入終了予定となっています。現在、さつまいもからの転作や夏植え・秋植えの積極的な推進により、増反が進んでいることから、作業受託組織のさらなる強化を図るなど、将来を見据えた取組みを進めたいと考えています。

また、さつまいもについては、サツマイモ基腐病等の被害が若干ありましたが、各農家による育苗期からの防除対策の効果が実を結び、前年度に比べさら

に発生が少なくなっております。これまで、国・県・関係機関が一体となつて、生産者への支援策に取り組んでいるところですが、引き続き次期作に向けた対策に取り組んでまいります。なお、生産見込みにつきましては、青果用及び加工用さつまいもにつきましては、作付面積１９６ヘクタール、平均見込反収１，７００キログラム、澱粉原料用さつまいもにつきましては、作付面積１０９ヘクタール見込平均反収５４．５俵となっております。

畜産につきましては、飼料代等の高騰等による経営コストの増加と市場価格の低迷により依然として厳しい状況にあります。直近の１１月の種子島家畜市場における本市産の和牛子牛平均価格は、４４万６千円で前回１０月のセリと比較すると、２万４千円の上げとなっておりますが、昨年同月と比較しますと、３万１千円の下げとなっています。

このような厳しい状況下ではありますが、去る９月２９日に開催されました第７３回鹿児島県畜産共進会において、本市の中園昌吾さんが１０回以上出品の特別表彰を受賞されました。

また、１１月１１日に開催された鹿児島県肉牛枝肉共進会では、株式会社中園翔葵の素牛が最優秀賞２席に輝きマーケットニーズ賞を受賞されました。このような明るいニュースを励みに、畜産業が回復傾向に転じることを願ってやみません。

次に商工業についてです。

来年１月に、導入を予定している電子地域通貨については、「たねＰａｙ」と名称が決定し準備を進めているところです。今後、市民向けの説明会や加盟店への説明会を開催し、円滑な事業展開ができるよう進めて参ります。

続いて観光業についてです。

１１月９日から１０日にかけて、グリーンツーリズム推進事業において、伊佐市と西之表市の交流事業を行いました。伊佐市及び伊佐市グリーンツーリズム推進協議会から温かい歓迎を受け、伊佐市ふるさと祭りへの参加など有意義な交流事業が行えました。姉妹都市である伊佐市とは、今後もグリーンツーリズム推進事業はもちろん、各種取組において交流事業を続けてまいります。

最後に馬毛島問題についてです。

令和元年１１月、国が土地売買に関し地権者と一定の合意に達してから５年となりました。めざす基地の完成は、工期の大幅延長により５年余り先の令和１

2年が見込まれています。私は、激動の5年を西之表市長として、市民のみなさまの不安の声、期待の声に寄り添うよう行動してまいりました。しかしながら一方で、工事着工前と現状における私の発言の内容について、市民のみなさまに十分ご理解いただけていないことにつきましては、改めて、深くお詫び申し上げますとともに、引き続きその努力を続けて参ります。その上で、今後に向けた私の思いを改めて整理の上、述べさせていただきます。

国は安全保障上の重要かつ喫緊の課題として、馬毛島への施設整備を進め、しばしも立ち止まる気配を見せません。私は、引き続き、西之表市長として将来に向けて、市民の生命、財産と暮らしを守り、安心・安全なまちづくりのため、行動していく決意です。正確な情報収集と市民のみなさまへの判断材料の提供、そして最善の道の選択が私の対応の基本となります。地域社会の未来をつくりあげていくのは、ここに暮らす私たちの意思と行動です。したがって、米軍及び自衛隊の訓練に関しましては、市民のみなさまの不安の声をしっかりと受け止め、騒音や基地機能の拡大、有事の際、攻撃対象となることへの不安など、その解消に向け、引き続き努力をしてまいります。一方、種子島に駐在する自衛隊員との関係においては、共存共栄を図ってまいります。再編交付金、基地交付金等、交付される可能性のある補助金等につきましては、法に基づく特定財源と捉えていますが、その活用に当たっては、市民のみなさまの期待の声にお応えすべく、引き続き努力してまいります。賛成・反対の二者択一で問題を解決できる状況にはありません。現実を冷静に見すえ、不安の解消と期待の充足、双方を念頭に、まちや暮らしの最適化を目指していくことが重要です。市民のみなさまの幸福実現のため、引き続き、全力を尽くします。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、本日提案いたしました議案について御説明いたします。

報告第12号は、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行に伴う令和6年度西之表市一般会計補正予算（第5号）の専決処分について、議案第61号は人事案件で、法令の規定により議会の同意を要するもの、議案第62号は西之表市子ども医療費助成条例の一部改正について、第63号は西之表市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部改正について、議案第64号は鹿児島県市町村総合事務組合の規約の変更について、議案第65号から議案第69号は西之表市一般会計補正予算及び特別会計補正予算など5件、合計10件であります。

予算の主なものについて御説明いたします。

議案第65号は、令和6年度西之表市一般会計補正予算（第6号）について

であります。

歳入歳出予算の総額から5,789万5千円を減額し、予算総額を150億3,469万6千円とするものです。

歳入では、市税において、法人の増収及び新規法人数の増加により、1億15万2千円の追加、国庫支出金では、再編交付金予定事業の先送りや各事業の決算見込により、1億6,617万5千円の減額、諸収入では、熊毛地区消防組合負担金返納金などにより、1,579万2千円追加しております。

歳出では、再編交付金予定事業の先送りや戸籍等への氏名の読み仮名の法制化対応のためのシステム改修の次年度対応などにより総務費を5,887万2千円減額、前年度精算に伴う国庫支出金返還金などにより民生費を2,222万7千円追加、事業者の決定に伴う電子地域通貨システム導入事業により商工費を1,993万5千円、減額しております。

議案第66号から第69号は、それぞれの特別会計に必要な補正を行おうとするものであります。なお、人事院勧告関係等で後日、議案の追加を予定しております。

以上、御審議のほどよろしく申し上げます。

令和6年11月29日

西之表市長 八板 俊輔